

9月11日に異常高温と空気の強い乾燥を確認！ 胴割粒増加の危険性高まる！ 速やかに刈り取りを進め、丁寧な乾燥調製を！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

出穂後の高温の影響で胴割粒が発生しやすい条件になっています。刈取適期に入ってから異常な高温が続く中、9月11日に空気中の湿度が急激に低下しました。立毛中で籾の吸湿・乾燥が急に起こると胴割粒が発生しやすくなります。農作業事故に十分注意しながら、刈取りを早急に進めましょう。

刈取り後は、籾水分を確認し、二段乾燥や夜間休止を行うなど、ゆっくり、丁寧な乾燥を行って、胴割粒の発生を防ぎましょう。また、整粒歩合を確保するため、適切な選別網目を使用するとともに、色彩選別機を積極的に利用し、白未熟粒、部分着色粒、茶米、青死米を全て除去して高品質米に仕上げましょう。

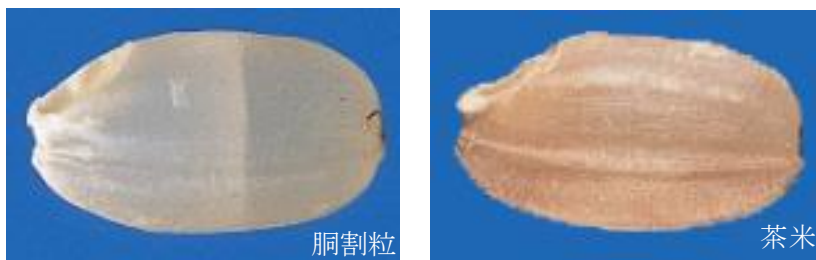


図1 刈遅れで増加する被害粒（農林水産省HP）

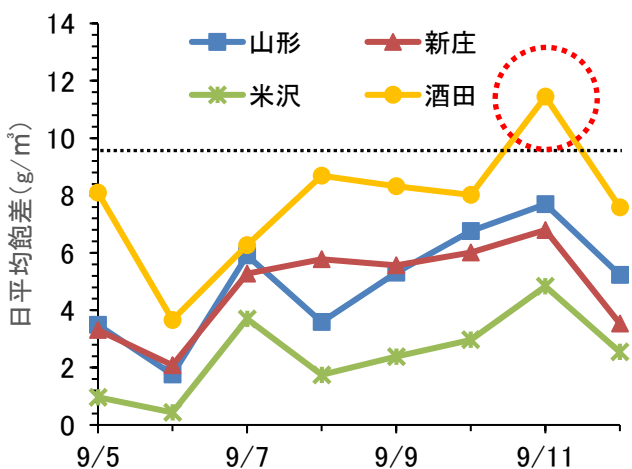


図2 日平均飽差の推移
 飽差：乾きやすさの指数で大きいほど乾きやすい。令和3年は日平均飽差が9g/m³を超えた後、胴割粒が増加した。

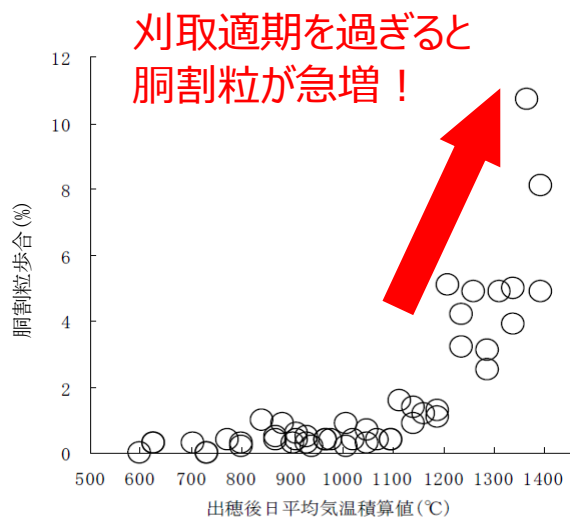


図3 「つや姫」の胴割粒歩合の推移
 (H22、農総研セ n²籾数2.8~3.5万粒)

農作業事故に十分注意してください！

農作業は休憩と水分を十分にとりながら、余裕を持って複数人数で行いましょう。
 コンバイン使用時等、収穫作業における重大事故に注意しましょう。 **STOP農作業事故！**